

巻 頭 言



静岡市長 田辺 信宏

「世界に輝く静岡」の実現に向けて

「世界に輝く静岡」の実現。これは、平成 27 年度からスタートした第 3 次静岡市総合計画に掲げた本市のまちづくりの目標です。

東アジアからの玄関口・富士山静岡空港に近接し、国際拠点港湾・清水港を有するなど、世界に繋がるインフラが整い、世界文化遺産構成資産・三保松原やユネスコエコパーク・南アルプスなど世界に誇る地域資源を有する本市には、わが国の発展の一翼を担う指定都市として、市政推進にあたって視座の高度化・国際化が求められています。

また、わが国全体が人口減少・少子高齢化を迎える中で、地域経済が力強く発展を遂げるためには、交流人口、特に海外との交流拡大が必要不可欠であり、世界に視野を広げ、その取組を具現化していくことは、時代の要請とも言えます。

このような中で、本市が重点政策として取り組んでいるのが「MICE 誘致」です。地域への経済効果はもとより、国際的なプレゼンスの向上、ビジネス機会やイノベーションの創出が期待される MICE は、市政発展への起爆剤となりうるものと期待しています。

本年 4 月には、日西両国の発展に向けて相互理解と協力関係を強化するための賢人会議「日本・スペイン・シンポジウム」、そして、東アジア、さらには地球規模の環境改善などに寄与することを目的とする「日中韓三カ国環境大臣会合」が開催されるなど、本市では MICE の開催地に相応しい都市力を備えるべく、実績を積み重ねているところです。

「日本・スペイン・シンポジウム」は、両国の友好を拓いた徳川家康公の没後 400 年を迎えたことを受け、友好の歴史的な舞台となった本市が開催地に選ばれたもので、本市では、シンポジウムに合わせて、「静岡フラメンコフェスティバル」など市民のみなさまがスペイン文化を身近に感じる事が出来るサイドイベントを開催し、市内外から多くのみなさまの参加を得て、国際意識を醸成する素晴らしい機会となりました。

また、「日中韓三カ国環境大臣会合」では、各国の閣僚が顔をそろえるハイレベルな会議の開催を通じて、今後の誘致・開催に向けて貴重な経験をえるとともに、会議に合わせて、市内一斉ライトダウンの実施や民間企業の環境に関する先駆的な取組をパネル展示するなど、本市の環境意識の高さを世界にアピールする絶好の機会にもなりました。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、わが国に対する世界各国からの注目度の高まりが見込まれる中、本市は、世界水準の都市への飛躍に向けて、MICE 誘致をはじめとする地域主体の海外交流を一層強化してまいります。